

VSOLJ ニュース(387)

こぎつね座に新星が出現

著者：前原裕之(国立天文台)

連絡先：hiroyuki.maehara@nao.ac.jp

こぎつね座の中に 7 月 29 日に新たな古典新星が発見され、9 等台まで明るくなりました。この新星を発見したのは、ロシア連邦カラチャイ・チェルケス共和国に設置したカメラによる銀河面付近の新天体サーベイ "New Milky Way" (NMW) survey を行なっているグループで、7 月 29.832 日(世界時; 以下同様)に撮影した画像から、こぎつね座の中に 11.2 等の新天体を発見しました。山口県の吉本さんの観測によると、この天体の正確な位置は

赤経: 19 時 43 分 07.50 秒

赤緯: +21 度 00 分 21.4 秒 (2000.0 年分点)

です。この天体は群馬県の小嶋さんが発見の 0.3 日前の 7 月 29.513 日に撮影した画像には 14 等以下で写っていないことから、発見直前に急激に明るくなったものと思われます。

この天体の分光観測は 7 月 30.47 日に京都大学岡山天文台の 3.8m せいめい望遠鏡を用いて行なわれ、この天体のスペクトルに P Cyg プロファイルを持つ水素のバルマー系列や中性酸素の輝線が見られること、P Cyg プロファイルの吸収成分は輝線成分に対して秒速 1900 km ほど青方偏移していることが分かりました。このようなスペクトルの特徴から、この天体が極大光度付近の古典新星であることが判明しました。

この天体は 7 月 30 日に 9 等台後半まで明るくなりましたが、その後は 7 月 31 日に 10 等台前半、8 月 1 日には 10 等台後半まで暗くなったことが観測されました。今後の明るさの変化が注目されます。なお、この天体にはこぎつね座 V615 と変光星名がつけられましたので、以後の観測報告はこの名称でお願いします。

新星の画像

・ NMW survey 撮影

https://scan.sai.msu.ru/~kirx/img/PNVJ19430751+2100204/finder_charts_PNG/finder_chart_0128pix_targetmark_v22.png

・ 吉本さん撮影

http://orange.zero.jp/k-yoshimoto/PNV_J19430751+2100204_20240730.jpg

参考文献

CBET 5423: V615 VULPECULAE

Taguchi, K., 2024, ATel #16743

Valisa, P., Munari, U., 2024, ATel #16746